

自然が育む美しい色彩  
訪れる人の心に響きわたる  
優しい風景が、そこにあります

# 角田山



緑豊かな上堰湯公園から見た角田山  
左手奥が多宝山

ト　　レ　　ッ　　キ　　ン　　グ　　カ　　イ　　ト

**角田山周遊バス**  
4月～6月、10月の土・日・祝日に運行  
\*時間・料金など詳しくは区役所へ

● 駐車場    ● トイレ

角田山登山コース

多宝山登山コース

多宝山

季節の植物

角田山・多宝山の主な

マルバマンサク・ヤブツバキ	エドヒガンザクラ	ナツツバキ	エゾアジサイ	キツネノカミソリ	紅葉
オオバクロモジ・ケアブラチャン	ヤマナシ	ヤマボウシ	リョウブ	シロタモ	
雪割草(オオミスミソウなど)	カタクリ・ミスバショウ	イワユリ	クマユリ・ヤマユリ・トリアシショウマ・ホタルブクロ	ツルリンドウ・アキノキリンソウ・オトコエシ・キバナアキギリ・ヤマトリカブ	
キクザキイチゲ・シュラン	ケキブシ・タムシバ	タニウツギ・ハウチワカエデ	ウワズミザクラ・ムシカリ	キンミスヒキ・ツリフネソウ	
イチリンソウ・シャガ・ニンソウ					
3月	4月	5月	6月	7月	8月
9月	10月	11月			

昔は「十宝山」と呼ばれていたという多宝山は南に位置する弥彦山と双耳峰。標高は633・8メートルで、新潟市内では一番高い山です。

多宝山は、かつて品質の良い銅が採れた、まさに名前の通り宝の山。元禄14年(1701)から銅の産出が始まり、明治・大正時代にピークを迎えました。その銅によって、燕の銅器産業が栄えたといわれています。

岩室温泉側からは岩室神社、丸小公園、石瀬の3つの登山口があり、頂上には気象レーダー観測所が建っています。角田山と同じく、佐渡弥彦米山国定公園に属し、豊かな自然が魅力です。清らかな湧き水を育てられるほか、雪割草やカタクリ、イチリンソウ、ヤマユリなど、季節の山野草が目を楽しませてくれます。

西蒲区のシンボルとして親しまれている角田山。佐渡弥彦米山国定公園に属し、県内に自生する草木のほとんどが見られるという、自然豊かな山です。

標高は481.7メートル。山頂から望む越後平野、日本海、佐渡島の眺めは格別です。なだらかな山容のなかに7つの登山道が設けられ、それぞれ山頂までは1〜2時間程度。体力に応じてコースを選ぶことができます。

角田山が最も輝くのが春。「花の山」とも呼ばれるように、雪解けとともに雪割草(オオミスミソウ)が可憐な花を咲かせると、それに続いて次々と山野草が山を彩ります。斜面一面を埋め尽くすカタクリの群生も圧巻です。

雪割草 (オオミスミソウ)

雪どけとともに、白、紫、ピンクなどさまざまな色の可憐な花が咲き、新潟の里山に春の訪れを告げる雪割草。角田山から多宝山一帯で、群生を見ることができます。

カタクリ

薄紫の愛らしい花を咲かせるカタクリは、ユリ科の多年草。角田山や多宝山の斜面では、3月下旬から咲き始め、一面の群生や雪割草との共演が、登山者の目を楽しませてくれます。

キクザキイチゲ

春の訪れを告げるように、かわいらしい花を咲かせます。見頃は3月下旬から5月上旬くらいまで。他の花々とともに山を彩る姿に、目と心を奪われます。

角田山  
多宝山で  
出会う  
主な  
春の花  
hana



夏井のはざ木展望施設と多宝山

